



「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」レポート



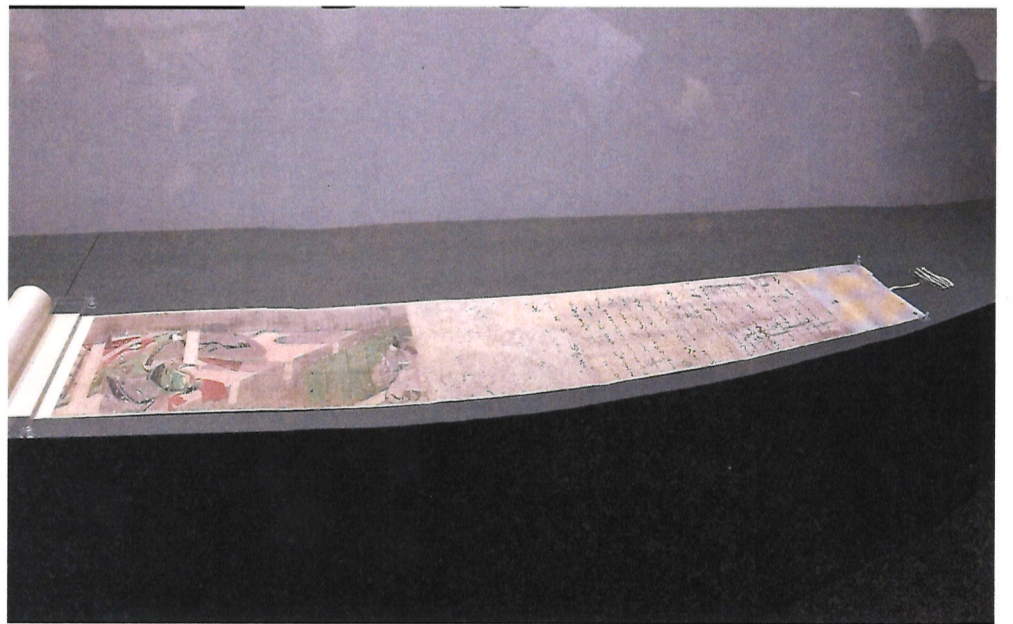
銀溜白系威具足

この作品は江戸時代17世紀の物で、よしなおという人が気に入っていたようで「おろし」との記の丸は太陽です。そしてそのまわりはクワカダムシのつもの形をした前立です。数々の中の作品で一番注目を集めていました。赤は金色なのでキラキラ光っていたから注目を集めていたのだと思います。

銀溜白系威具足 一領 江戸時代 17世紀 徳川美術館【通期展示】

源氏物語絵巻

これは1000年前のきょうな茶会まきです。このシーンは二人のおひめさまが「ひわ」とことをひいているシーンで、右下の男の人がそんな女のたちをのぞきみしています。右上には月が出ていて、月にてらされています。きりが立ちこめています。右下の男の人はこの物語で「中心」の人物の一人です。昔の茶会本がアニメという事です。



国宝 源氏物語絵巻 橋姫 一巻 平安時代 12世紀 徳川美術館
【展示期間：7/31～8/15】

Q&A

仕事のやりかたはなんですか?

2つあります。
1つ目はおきく大人にきいたおねえさんのかみさんたよとよもえること。2つ目はかいてるおとくときにしるべいしるべいおたことかしたはじま。